

末梢血幹細胞採取時の採取検体における
CD34 陽性細胞測定の標準化と最終採取量予測についての検討について

過去に末梢血幹細胞採取を受けられた患者さんのご家族の方へ

末梢血幹細胞移植においては、採取末梢血中の CD34 という抗原が陽性の細胞数と、造血幹細胞数が相関するとされ、移植を行う場合の輸注細胞数の目安となっています。しかし、CD34 陽性細胞の測定結果は、施設間で大きな差のあることが知られています。このため、厚生労働科学研究【非血縁者間同種末梢血幹細胞移植開始におけるドナーおよびレシピエントの安全性と移植成績向上に関する研究】研究班 研究代表者 宮村耕一の班研究として、末梢血幹細胞採取浮遊液中の CD34 陽性細胞測定の標準化について検討を行うことになりました。この検討の一環として、かつて末梢血幹細胞採取を行った際に、検査用に別に保存した検体の一部（1ml 程度）の CD34 陽性細胞を 4 種類の方法で測定し、迅速かつ確実な CD34 陽性細胞数測定方法の標準化のための検討を行う際の試料としたいと考えています。使用させていただく検体は、すべてすでに死亡された方のものであります。結果は、この臨床研究で行われる、他の検査の結果と集計して、適切な測定方法の標準化のための検討に用います。個人の情報が外部に漏れることは一切ありません。もし、この研究にこのような検体を使用されることについて、ご意見やご質問をお持ちの方は、ご遠慮なくお問い合わせください。ご連絡は下記までお願いいたします。

連絡先

〒710-8602

倉敷市美和一丁目一番一号 倉敷中央病院

血液内科・血液治療センター 主任部長 上田恭典

電話番号 086-422-0210 FAX 番号 086-425-9879